研究指導の概要

■ デザイン学学位プログラム

【課程: 博士前期課程】

学年	_	:期 ュール	研究内容及び指導方法等					
		A	■ 指導教員・所属研究室の決定 ■ 指導教員の下でのディスカッション等を通し、研究テーマ決定等を実施					
	春	В	 □ 研究計画届の提出 ◆ 授業科目の受講(研究のための基礎科目の履修) ・デザイン学基礎論 					
1		С	 人間総合科学基礎論 研究倫理 					
年次		A	■研究実施(科目名:デザイン学特別演習1) :指導教員の下でディスカッションその他を通して研究を進行					
	秋	В	k学期末の特別演習・特別研究発表会で成果を確認 第1段階達成度審査(ASA1)でDPの獲得状況を確認 成度審査委員会は(主指導+副指導+教務委員)で構成され学生ごとに達成度					
		С	評価の認定を行い、結果を学生にフィードバックする ◆ 授業科目の受講 □ 研究成果報告書の提出					
		A	□ 研究計画届の提出 ■ 研究実施(科目名:デザイン学特別演習2)					
	春	В	 ■ 新先久施(中日日・アライシ」(新加速目2) :指導教員の下でディスカッションその他を通して研究を進行 □ 春学期末の修士論文中間発表会で成果を確認 					
2		С	★ 第2段階達成度審査(ASA2)でDPの獲得状況を確認 ◆ 授業科目の受講					
年次		A	■ 研究実施(指導教員の下でのディスカッション等を通して研究を進める)					
	秋	В	 □ 学位論文の公開発表会・最終審査により、修了要件の一部である学位論文を審 査する ★ 最終達成度審査(FASA)で、学位論文提出要件を確認する 					
		С	□ 研究成果報告書の提出					



2023年2月6日 達成度評価ワークショップ

達成度評価ワークショップ Assessment of Student Achievement (ASA) Workshop

デザイン学学位プログラム 教務委員会 小山慎一





When you say you got a master's or PhD degree from Tsukuba, people/companies ask you.....

- What did you study? What was your GPA?
- What can you do for us? => You will show your competence.





Purpose of ASA

- Meet the request from the society
- Maintain/Improve quality of education





コンピテンス(博士前期)

- 汎用コンピテンス General Competence
 - 知の活用力:高度な知識を社会に役立てる能力
 - マネジメント能力:広い視野に立ち課題に的確に対応する 能力
 - コミュニケーション能力:専門知識を的確に分かりやすく 伝える能力
 - チームワークカ:チームとして協働し積極的に目標の達 成に寄与する能力
 - 国際性:国際社会に貢献する意識





コンピテンス(博士前期)

- 学位プログラムコンピテンス Degree Program Competence
 - 構想・表現力:課題抽出能力(目利き力)と計画立案能力
 - 分析力:広い視点から問題を解決する専門的問題分析力
 - 解決力:専門力に裏付けられ、新しい解決策を生み出し、 成果を社会や学術界に提案する力





コンピテンス(博士後期)

- 汎用コンピテンス General Competence
 - 知の創成力:未来の社会に貢献し得る新たな知を 創成する能力
 - マネジメント能力:俯瞰的な視野から課題を発見し 解決のための方策を計画し実行する能力
 - コミュニケーション能力:学術的成果の本質を積極 的かつ分かりやすく伝える能力
 - リーダーシップカ:リーダーシップを発揮して目的を 達成する能力







コンピテンス(博士前期)

- 学位プログラムコンピテンス DP Competence
 - 構想・思考力:高度な課題抽出能力(目利き力)と専門的 研究計画立案能力"
 - 一分析力:高い視野に立って広い視点から問題を解決す高度な問題分析力
 - 解決力:高度な専門力に裏付けられ、新しい解決策を生 み出し、成果を社会や学術界に提案する力





達成度評価の実施方法

- 学生による自己評価(自己評価シートの記入・提出) カリキュラム・マップを元に、学生が修得した科目に応じ た汎用/専門コンピテンスの修得状況を報告する。学会 発表、論文作成、TA経験、ボランティア活動などの授業 以外の活動も積極的に評価する。自己評価シートに記 入し、エビデンスとともに提出する
- 2. 審査委員会(主指導+副指導+教務委員)による審査 達成度評価の認定を行い、結果を学生にフィードバック する





コンピテンスと授業の関係:カリキュラムマップ

(人間総合科学学術院)人間総合科学研究群(博士前期課程)										汎月	胆ンビテ:	ンス		朝	<u>わンビテ:</u>	ンス
			単位数			授	授業形態		1	2	3	4	5	1	2	3
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必 修	選択	自由	講	演習	実験・実習	知の 活用力	マネージ メント能 力	H - 2	チーム ワークカ	国際性	構想·表 現力	分析力	解決力
■デリ	『イン学学位プログラム(M)															
基	デザイン学基礎論	1前	2			0			0					0		
礎科	人間総合科学基礎論**	1・2前	1				0							0	0	0
	研究倫理*	1・2前	1			0			0	0	0					0
	サイエンスコミュニケーション概論*	1・2前		1				0	0		0			0		
	自然災害にどう向き合うか*	1・2前		1		0			0	0	0			0		
	こころの神経科学**	1.2通		1		0			0					0	0	
	音響メディア情報**	1後		1		0								0	0	0
	大学を開くデザインプロデュース A**	1・2前		1			0				0	0		0		0
	大学を開くデザインプロデュース B**	1・2前		1			0				0	0		0		0
	大学を開くデザインプロデュース C***	1 '2後		1			0				0	0		0		0
	小計 (10科目)	-	4	7	0		-									
専	感性脳科学特講	1・2前		2		0			0						0	
門 科	視覚情報デザイン論特講	1+2後		2		0			0						0	
	色彩デザイン論特講	1・2前		2		0			0						0	

自己評価シートの記入例(博士前期)

達成度自己評価シート(2021年度)(デザイン学学位プログラム博士前期課程)

学籍描号:	学生氏名:	主音氏名:	記入年月日:	年	月	

			コンピテンス	評価の観点 (①と②の両方を満たしているか) (①と②はandとして考える)	12 11 15	評価理由	認定	達成度評価委 員会による評価	評価委員会コメント
	1	知の活用力	高度な知識を社会に役立てる 能力	 研究等を通じて知を社会に役立てた(または 役立てようとしている)か 領点しい知識に基づいて、専門分野以外でも 問題を発見することができるか 					
説用コンピテンス	2	マネジメント能力	広い視野に立ち課題に的確に 対応する能力	 大きな課題に対して計画的に対応することが できるか 複数の視点から問題を捉え、解決する能力 はあるか 					
	3	コミュニケーション 能力	専門知識を的確に分かり場く伝 える能力	① 研究等を円滑に実施するために必要なコミュ ニケーションを十分に行うことができるか ② 研究内容や専門知識について、その分野だ けでなく異分野の人にも約確かつわかりやすく説 明することができるか					
	4	チームワークカ	テームとして協働し積極的に目 標の達成に寄与する能力	 チームとして協働し積極的に課題に取り組ん だ経験はあるか 自分の研究以外のプロジェクト等の推進に何 らかの貢献をしたか 					
	5	国際性	国際社会に貢献する意識	 国際社会への貢献や国際的な活動に対する 意識があるか 国際的な債報収集や行動に必要な語学力 を有するか 					
TUK	6	欄想·表現力	課題抽出能力(目利きカ)と 計画立案能力	専門的な問題の周辺にも構通し、課題抽出能 力を活かして研究・制作を立案し、表現する力を 身に付けたか。					
	7	分析力	広い視点から問題を解決する 専門的問題分析力	①専門分野における優れた研究を実施するための専門的問題分析力を身についたか。 ②広い分野から、総合的なデザイン課題を分析する能力を身についたか。					
	8	解決力	専門力に裏付けられ、新しい解 決策を生み出し、成果を社会 や学術界に提案する力	インターンシップや実践的演習により問題解決力 (任務完結力)・交破力(計画立案能力)を 援募したか。					

※評価結果を1~3の数値で記入する。すべてのコンビテンスについて、毎回自己評価を行うこと。

1:今後の連成を目指す 2:ほぼ連成できた 3:連成できた

最終連成度審査に合格するためには、所定の30単位を取得の上、1~8のすべての項目で「妥当」以上の認定を受ける必要がある(認定は「優秀」「妥当」「未達成」の3段幣)。

自己評価シート(仮)の記入例(博士後期)

達成度自己評価シート(2021年度)(デザイン学学位プログラム博士後期課程)

学籍番号:	学生氏名:	主責氏名:	記入年月日:	年	月	B	

		c	ンピテンス	評価の観点(①と②の両方を満たしているか) (①と②はandとして考える)	自己評価※	評価理由	認定	達成度評価委 員会による評価	評価委員会コメント
	1	知の創成力		 新たな知の創成といえる研究成果等があるか 人類社会の未来に買する知を創成することが期待できるか 					
	2	マネジメント能力	俯瞰的な視野から課題を発見 し解決のための方策を計画し実 行する能力	 重要な課題に対して長期的な計画を立て、的 確に実行することができるか 専門分野以外においても課題を発見し、俯瞰 的な視野から解決する能力はあるか 					
乳用ンゲンス	3		学術的成果の本質を積極的か つわかりやすく伝える能力	① 異分野の研究者や研究者以外の人に対して、 研究内容や専門知識の本質を分かりやす(論理的 に説明することができるか ② 専門分野の研究者等に自分の研究成果を積 確約に伝えるとともに、質問に的確に答えることができるか					
	4	リーダーシップカ	リーダーシップを発揮して目的を	 魅力的かつ脱得力のある目標を設定することが できるか 目標を実現するための体制を構築し、リーダーと して目的を達成する能力があるか 					
	5		国際的に活動し国際社会に責 献する高い意識と意欲	 国際社会への貢献や国際的な活動に対する高 い意識と意欲があるか 国際的な情報収集や行動に十分な話学力を 有するか 					
デンス	6	模想·思考力	きカ)と専門的研究計画立案	専門的な問題の細部にも構通し、高い課題抽出 能力を活かして研究・制作を立案・実施する力を 身に付けたか。					
そうくにからたってつん	7		高い視野に立って広い視点から 問題を解決す高度な問題分析 カ	①専門分野における高度で優れた研究を実施する ための高い専門的問題分析力を身についたか。 ②広い分野と高い専門的知識から、総合的なデザ イン課題を分析する能力を身につけたか。					
Ū.€	8	48:5 ÷	高度な専門力に裏付けられ、 新しい解決策を生み出し、成 果を社会や学術界に提案する 力	①インターンシップや実践的研究の実施により高度 な問題解決力(任務完結力) ③ 強和な交破力(計画立案能力)を獲得したか。					

※評価結果を1~3の数値で記入する。すべてのコンピテンスについて、毎回自己評価を行うこと。

1:今後の違成を目指す 2:ほぼ達成できた 3:違成できた

最終連成度審査に合格するためには、所定の6単位を取得の上、1~8のすべての項目で「妥当」以上の認定を受ける必要がある(認定は「優秀」「妥当」「未達成」の3段階)。



- 「何を学んだのか」ではなく、「何ができるようになったのか」を書いてほしい
- Write what competence you gained, rather than what you learned.

I took an English course and learned English grammar.

=> I took an English course and my TOEFL score became 90.





- 筑波大学スタンダードで評価して欲しい。
- 基準が高すぎても低すぎてもいけない。基準は今までの修了生と比較して考える
- Evaluate with Tsukuba Standard.
- Our standard should not be too low or too high. Compare our standards to those of graduated.





- デザイン学学位プログラムの博士前期課程は「30単 位分以上学修することによって8つのコンピテンスを 得られるように大学院は設計されている」ということ を考慮して欲しい(単純計算で1コンピテンスあたり 3.75単位分以上の学修が必要)
- Consider that DPD for masters' is designed for you to achieve 8 kinds of competence by taking graduatelevel courses for 30+ credits (nearly equal to 3.75+ credits/competence, For PhD 0.75credits/competence)





- 博士後期のコンピテンスは「論文を書くためのコンピ テンス」「博士として働くためのコンピテンス」として 考える
- Consider that competence for doctors' means competence to write a research paper and competence to work as a PhD. Please check each competence you think obtained is sufficient to write a paper and work as a PhD.





- •「分析力」には修士論文(博士前期)もしくは原著論 文2本(博士後期)が必要
- For 分析力, you need to submit your masters' thesis (masters' program) or two original research papers (doctoral program).





エビデンスについて

- 「何をやったのか」ではなく「何ができるようになったのか」をエビデンスで示してほしい
- Your evidence should show what you achieved, rather than what you did.
- 追加の資料が必要な場合には後から連絡するので、必要最低限な量を提出すればよい
- We will contact you when we need additional evidence. So please submit minimum and necessary evidence.
- ・ シラバスや成績表は提出不要
- No need to submit syllabus and/or transcript





未達成のコンピテンスについて

- コンピテンスは修了までに習得すればよいので、今年度 習得できなかったコンピテンスは来年度習得すればよ い
- You don't need to achieve all competence this year. You can try next year.
- 今回の自己評価を行う際に、来年度以降の計画も立て るとよい
- During the self-evaluation, make a good plan for next year.





今後の予定(博士前期)

- 2月28日(火) 自己評価シートをmanabaに提出
- Submit your self-evaluation to manaba by February 28th.
- ・3月中に審査を行い、3月末に返却
- Your self-evaluation will be reviewed by the ASA committee and returned to you by March 31st.



ASA for PhD students

ASA1 Done 研究構想発表会 ASA2 End of 2nd year ASA3 Middle of 3rd year FASA End of 3rd year





Q and A





お問い合わせ先

ご質問等がありましたら小山までお願いします。 skoyama@geijutsu.tsukuba.ac.jp





2023年4月5日 DPD新入生オリエンテーション

達成度評価と学位論文について Diploma Policy

デザイン学学位プログラム 教務委員会 小山慎一 Degrees Program in Design, Academic Affairs Committee Shinichi Koyama





I will speak Japanese while showing slides in English.

The same information is available at the DPD website (in Japanese) and can be translated by Google Chrome.

https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/mdes/ https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/ddes/





Our goals 養成する人材像

 The program aims to nurture highly skilled professionals with the qualities of international top leaders or researchers at the core of diverse research and educational institutions.





We need to keep ourselves the best university in order to develop the best people.

We need to develop the best people in order to keep ourselves the best university.



Requirements for Master's/PhD diploma

- Course Credits
- Supervision
- Pass the final exam
- Pass the thesis exam



Assessment of Students' Achievement (ASA)

- As a part of supervision and final exam, we do Assessment of Students' Achievement (ASA) and make sure that students obtain 8 kinds of competence.
- Students evaluate their achievement by self-report and the ASA committee checks it.
- By doing this, we want to promote you to learn proactively and also check our curriculum.







General Competence for PhD students

- **Knowledge creation:** Ability to create new knowledge that can contribute to future society
- Management skills: Ability to discover issues from a bird's eye view, and to plan and implement measures to solve them.
- **Communication skills:** Ability to communicate the essence of academic achievements in a positive and easy-to-understand manner.
- Leadership skills: Ability to achieve objectives through leadership
- Internationality: High awareness and willingness to work internationally and contribute to the international community





Degree Program Competence for PhD students

- Conceptualization and thinking skills: advanced problem identification (discernment) and professional research planning skills
- Analytical skills: advanced problem analysis skills to solve problems from a broad perspective from a high vantage point
- Problem-Solving ability: ability to create new solutions and propose the results to society and academia, backed by advanced professional skills



In order to obtain Analytical Skill

PhD:

You need to publish 2 peer-reviewed research papers, or 1 peer-reviewed research paper PLUS 1 peer-reviewed proceedings in an international conference or 1 work evaluated by international organization.

Masters:

You need to complete your master's thesis.





Time schedule for ASA (Master's)

Research Proposal Form ASA1 ASA2 Final ASA M1 Spring M1 Fall M2 Spring M2 Fall





Time schedule for ASA (PhD)

Research Proposal Presentation (ASA1)	D1 Spring
ASA2	D2 Fall
ASA3	D3 Spring
Final ASA	D3 Fall





How to perform ASA

- 1. Students write self-report.
- ASA Committee (main advisor + co-advisor + Academic Affairs Committee) checks your report and give feedback.

We will have an ASA workshop in February and explain more details.





Curriculum Map

Competence Names

		研究群	骨工	「」「「「」「」」(「」」(「」)					汎用コンピテンス					朝門コンビテンス		
			į	単位数		授	授業形態		1	2	3	4	5	1	2	3
目分	授業科目の名称	配当年次	必 修	選択	自由	講	演習	実験・実習	知の 活用力	マネージ メント能 力	コミュニ ケーショ ン能力	チーム ワークカ	国際性	構想·表 現力	分析力	解決力
デザ	イン学学位プログラム(M)															
	デザイン学基礎論	1前	2			0			0					0		
Ē	人間総合科学基礎論**	1・2前	1				0							0	0	0
	研究倫理*	1・2前	1			0			0	0	0					0
	サイエンスコミュニケーション概論*	1・2前		1				0	0		0			0		
	自然災害にどう向き合うか*	1・2前		1		0			0	0	0			0		
)(irse Name	\$ ^{2通}		1		0 0			0					0	0	0
	大学を開くデザインプロデュース A**	1・2前		1			0				0	0		0		0
	大学を開くデザインプロデュース B**	1・2前		1			0				0	0		0		0
	大学を開くデザインプロデュース C**	1+2後		1			0				0	0		0		0
	小計 (10科目)	-	4	7	0		-									
	感性脳科学特講	1・2前		2		0			0						0	
]	視覚情報デザイン論特講	1 '2後		2		0			0						0	
	色彩デザイン論特講	1・2前		2		0			0						0	
	デザ デザ)) (ガガイン学学位プログラム(M) デザイン学学位プログラム(M) デザイン学学確論 人間総合科学基礎論*** 研究倫理* サイエンスコミュニケーション概論* 自然災害にどう向き合うか* こころの提倡科** スプケ情報* 大学を開くデザインプロデュース 6** 大学を開くデザインプロデュース 6** 大学を開くデザインプロデュース 6** 大学を開くデザインプロデュース 6** 大学を開くデザインプロデュース 6** 大学を開くデザインプロデュース 6** 小計 (10科目) 感性脳科学特講 視覚情報デザイン論特講	ガラ 授業科目の名称 配当年次 デザイン学学位プログラム(M) デザイン学基礎論 1前 ブロクラム(M) 「ガイン学基礎論 1前 人間総合科学基礎論** 1:2前 研究倫理* 1:2前 サイエンスコミュニケーション概論* 1:2前 自然災害にどう向き合うか* 2:2通 デジン学を開くデザインプロデュース A** 1:2前 大学を開くデザインプロデュース B** 1:2前 大学を開くデザインプロデュース C** 1:2前 北 ① (10科目) - 電 感性脳科学特謝 1:2前 視覚情報デザイン論特謝 1:2後	投業科目の名称 配当年次 必 デザイン学学位プログラム(M) デザイン学学位プログラム(M) デザイン学学徒プログラム(M) ブザイン学学徒プログラム(M) ブリンジ学を確論 1 ½ 1 小式の治理* 1 ½ 1 サイエンスコミュニケーション概論* 1 ½ 1 ログンジンジングロデュースの地容 1 ½ 1 レンジングレディングロデュースの地容 1 ½ 1 レンジングロデュースの地容 1 ½ 1 レンジングレディングロデュースの地容 1 ½ 1 レンジングレデュースの地容 1 ½ 1 レンジングロデュースの地容 1 ½ 1 大学を開くデザインプロデュース 0** 1 ½ 1 大学を開くデザインプロデュース 0** 1 ½ 1 大学を開くデザインプロデュース 0** 1 ½ 1 小計(10科目) - 4 1 ½ 1 観性脳科学特講 1 ½ 2 視覚情報デザイン論特講 1 ½ 2	漫葉科目の名称 配当年次 25 32 デザイン学学位プログラム(M) 6 択 デザイン学学位プログラム(M) デザイン学学磁論 1前 2 人間総合科学基礎論** 1・2前 1 研究倫理* 1・2前 1 サイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 自然災害にとう向き合うか* 1・2前 1 デジを開くデザインプロデュース A** 1・2前 1 大学を開くデザインプロデュース B** 1・2前 1 大学を開くデザインプロデュース C** 1・2前 1 大学を開くデザインプロデュース C** 1・2前 1 小計 (10科目) - 4 7 提供脳科学特講 1・2術 1 2 視覚情報デザイン論特講 1・2後 2	漫葉科目の名称 配当年次 必 速 目 デザイン学学位プログラム (M) デザイン学学位プログラム (M) デザイン学学位プログラム (M) デザイン学学位プログラム (M) ブイン学学位プログラム (M) ブイン学学位プログラム (M) ブイン学学位プログラム (M) ブイン学学位プログラム (M) ブイン学学校の (M) ブイン学学校の (M) ブイン学学校の (M) ブイン学学校の (M) ブイン学学校の (M) ブイン	投業科目の名称 配当年次 25 32 目 第 グワイン学学位プログラム (M) 修 択 由 第 デザイン学学位プログラム (M) 1前 2 0 ブザイン学学位プログラム (M) 1前 2 0 ブザイン学学位プログラム (M) 1前 2 0 人間総合科学基礎論 1前 2 0 小式:001 112前 1 0 サイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 1・2前 1 0 1・2前 1 ブインジョン(第二 0 1・2前 1 0 ブジーン(デースの) デースの) 1 0 1 ブジーン(デースの) 1・2前 1 0 0 デースの) デースの) 1・2前 1 0 デースの) デースの) 1・1 0 1 デースの) デースの) 1・1 0 0 デースの) デースの) 1・1 0 1 パンデースの) 1・1 1 0 <	漫葉科目の名称 配当年次 25 124 日 講 124 (6 択 由 菜 留 デザイン学学位プログラム (M) デザイン学学位プログラム (M) デザイン学学磁論 1 0 人間総合科学基礎論** 1・2前 1 0 研究倫理* 1・2前 1 0 0 サイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 「シュンの情報* 1・2前 1 0 0 「シュンの情報* 1・2前 1 0 0 大学を開くデザインプロデュース P#* 1・2前 1 0 大学を開くデザインプロデュース D** 1・2前 1 0 大学を開くデザインプロデュース C** 1・2前 1 0 小計 (10科目) - 4 7 0 「 感性脳科学特謝 1・2前 1・2前 2 0 視覚情報デザインプロデュース Dia/+ 1・2前 2 0	日かの 授業科目の名称 配当年次 必 運 自 課 速 要 デザイン学学位プログラム(M) 6 択 由 第 2 2 0 2 デザイン学学位プログラム(M) 1 1 2 0 0 0 0 プザイン学学磁論 11 1 1 0 0 0 人間総合科学基礎論 11/2前 1 0 0 0 研究倫理* 11/2前 1 0 0 0 サイエンスコミュニケーション概論* 11/2前 1 0 0 0 美公売情報 11/2前 1 0 0 0 大学を開くデザインプロデュース A** 11/2前 1 0 0 大学を開くデザインプロデュース C** 11/2前 1 0 0 小計(10科目) - 4 7 0 - 感性脳科学特謝 11/2前 1 2 0 0 現住脳科学特謝 11/2約 2 0 0 0	日 授業科目の名称 配当年次 必 選 自 講 演 数 第 1 <t< th=""><th>日か 授業科目の名称 配当年次 必 運 自 講 演 数 元の 元ネージ デザイン学学位プログラム (M) 修 択 由 第 留 第 2 0 0 0 0 デザイン学学位プログラム (M) 1 1 2 0 0 0 0 0 0 デザイン学学位プログラム (M) 1 1 0 0 0 0 0 0 人間総合科学基礎論 11約 2 1 0 0 0 0 0 研究倫理* 1・2前 1 0 0 0 0 0 0 サイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 0 レイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミューカース 0** 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュース 0*** 1・2前 1 0 0 0 0 レイン学を聞くデザインプロデュース 0*** 1・2前 1 0 0 0 0</th><th>日かの 授業科目の名称 配当年次 必 運 自 講 速 数 知の 知の 知の アネージ フネージ デザイン学学位プログラム (M) 修 択 由 第 1 1 0 0 0 0 デザイン学学位プログラム (M) デザイン学学校のプログラム (M) 1 2 0 0 0 0 0 デザイン学学校のプログラム (M) 1 1 0 0 0 0 0 0 デザイン学学校のプログラム (M) 1 2 0 0 0 0 0 デザイン学学校のプログラム (M) 1 2 0 0 0 0 0 研究倫理* 11½ 1 1 0 0 0 0 サイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュース A** 1・2前 1 0 0 0 0 大学を開くデザインプロデュース A** 1・2前 1 0 0 0 0 大学を開くデザインプロデュース C** 1・2前 1 0 0 0</th><th>日 授業料目の名称 配当年次 必 遅 自 講 減 酸 知の マネージ フミュニ チーム デザイン学学位 ブロ グラム (M) 1 白 第 第 1 日 第 1 日 第 1</th></t<> <th>分 授業科目の名称 配当年次 必 選 自 課 演 課 演 課 演 課 第 1 1 1 1 1 <t< th=""><th>分 授業科目の名称 配当年次 必 選 自 講 速 要 知の マネージ 기ミュニ ケージョ デーム 回際性 構想:表 現力 デザイン学学位 プログラム (M) 1前 2 小 0 <th< th=""><th>日 提業科目の名称 配当年次 必 運 自 講 演 演 演 第 演 第 1 1 1 <t< th=""></t<></th></th<></th></t<></th>	日か 授業科目の名称 配当年次 必 運 自 講 演 数 元の 元ネージ デザイン学学位プログラム (M) 修 択 由 第 留 第 2 0 0 0 0 デザイン学学位プログラム (M) 1 1 2 0 0 0 0 0 0 デザイン学学位プログラム (M) 1 1 0 0 0 0 0 0 人間総合科学基礎論 11約 2 1 0 0 0 0 0 研究倫理* 1・2前 1 0 0 0 0 0 0 サイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 0 レイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミューカース 0** 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュース 0*** 1・2前 1 0 0 0 0 レイン学を聞くデザインプロデュース 0*** 1・2前 1 0 0 0 0	日かの 授業科目の名称 配当年次 必 運 自 講 速 数 知の 知の 知の アネージ フネージ デザイン学学位プログラム (M) 修 択 由 第 1 1 0 0 0 0 デザイン学学位プログラム (M) デザイン学学校のプログラム (M) 1 2 0 0 0 0 0 デザイン学学校のプログラム (M) 1 1 0 0 0 0 0 0 デザイン学学校のプログラム (M) 1 2 0 0 0 0 0 デザイン学学校のプログラム (M) 1 2 0 0 0 0 0 研究倫理* 11½ 1 1 0 0 0 0 サイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュニケーション概論* 1・2前 1 0 0 0 0 レイエンスコミュース A** 1・2前 1 0 0 0 0 大学を開くデザインプロデュース A** 1・2前 1 0 0 0 0 大学を開くデザインプロデュース C** 1・2前 1 0 0 0	日 授業料目の名称 配当年次 必 遅 自 講 減 酸 知の マネージ フミュニ チーム デザイン学学位 ブロ グラム (M) 1 白 第 第 1 日 第 1 日 第 1	分 授業科目の名称 配当年次 必 選 自 課 演 課 演 課 演 課 第 1 1 1 1 1 <t< th=""><th>分 授業科目の名称 配当年次 必 選 自 講 速 要 知の マネージ 기ミュニ ケージョ デーム 回際性 構想:表 現力 デザイン学学位 プログラム (M) 1前 2 小 0 <th< th=""><th>日 提業科目の名称 配当年次 必 運 自 講 演 演 演 第 演 第 1 1 1 <t< th=""></t<></th></th<></th></t<>	分 授業科目の名称 配当年次 必 選 自 講 速 要 知の マネージ 기ミュニ ケージョ デーム 回際性 構想:表 現力 デザイン学学位 プログラム (M) 1前 2 小 0 <th< th=""><th>日 提業科目の名称 配当年次 必 運 自 講 演 演 演 第 演 第 1 1 1 <t< th=""></t<></th></th<>	日 提業科目の名称 配当年次 必 運 自 講 演 演 演 第 演 第 1 1 1 <t< th=""></t<>

Self-Assessment Report

達成度自己評価シート(2021年度)(デザイン学学位プログラム博士後期課程)

		学籍番号:	学生氏名:	主査氏名: 記入	年月日:	年月日			
		2	レビテンス	評価の観点(①と②の両方を満たしているか) (①と②はandとして考える)	自己評価※	評価理由	認定	達成度評価委 員会による評価	評価委員会コメント
	1	知の創成力	未来の社会に貢献し得る新た な知を創成する能力	 新たな知の創成といえる研究成果等があるか 人類社会の未来に資する知を創成することが期待できるか 					
	2	マネジメント能力	俯瞰的な視野から課題を発見 し解決のための方策を計画し実 行する能力	 重要な課題に対して長期的な計画を立て、的 確に実行することができるか 専門分野以外においても課題を発見し、俯瞰 的な視野から解決する能力はあるか 					
別用コンピンス	3	コミュニケーション都 カ	学術的成果の本質を積極的か つわかりやすく伝える能力	① 異分野の研究者や研究者以外の人に対して、 研究内容や専門知識の本質を分かりやすく論理的 に説明することができるか ② 専門分野の研究者等に自分の研究成果を積 確約に伝えるとともに、質問に的確に落えることができるか					
	4	リーダーシップカ	リーダーシップを発揮して目的を 違成する能力	 魅力的かつ脱帯力のある目標を設定することが できるか 目標を実現するための体制を構築し、リーダーと して目的を違成する能力があるか 					
	5	国際性	献する高い意識と意欲	① 国際社会への貢献や国際的な活動に対する高 い意風と意欲があるか ② 国際的な情報収集や行動に十分な語学力を 有するか					
FXX	6	構想·思考力	きカ)と専門的研究計画立案	専門的な問題の細部にも構通し、高い課題法出 能力を活かして研究・制作を立案・実施する力を 身に付けたか。					
すべいしつうんつどう	7	分析力	高い視野に立って広い視点から 問題を解決す高度な問題分析 カ	①専門分野における高度で優れた研究を実施する ための高い専門的問題分析力を身についたか。 ②広い分野と高い専門的知識から、総合的なデザ イン課題を分析する能力を身につけたか。					
U.f.	8	解決力	高度な専門力に裏付けられ、 新しい解決策を生み出し、成 果を社会や学術界に提案する 力	①インターンシップや実践的研究の実施により高度 な問題解決力(任務完結力) ② 強靭な交破力(計画立案能力)を獲得したか。					

※評価結果を1~3の数値で記入する。すべてのコンピテンスについて、毎回自己評価を行うこと。

1:今後の違成を目指す 2:ほぼ違成できた 3:違成できた

最終連成度審査に合格するためには、所定の6単位を取得の上、1~8のすべての項目で「翌当以上の際定を受ける必要がある(課定に「優秀」「妥当」「未達成」の3段階)。



Thesis Review Schedule

Masters'

- November: Title submission
- December: Submission
- January: Review, Oral Defense, Exhibition, book of abstracts (梗概集)

PhD

- September: Preliminary Review
- November: Main Review
- December January: Final Oral Defense
- Early completion program and long-term completion programs also available





In order to write a good thesis

Common to both Master's and Doctoral Programs

- Begin preparation as soon as you enter the school
- Consult with your academic advisor
- Make presentations at conferences and get feedback
 Especially for PhD
- Write as many papers as possible and submit them to journals
- Expand your circle of researchers





日本学術振興会特別研究員(JSPS fellowship)

- 優れた若手研究者に研究奨励金を支給する制度
 DC1 月額20万円×3年間+150万円/年以下の研究費
 DC2 月額20万円×2年間+150万円/年以下の研究費
 PD 月額36万円×3年間+150万円/年以下の研究費
 https://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html
- 採用されるためには優れた研究実績(査読付き論文+国 際学会での発表)が必要なので希望者は指導教員と相談 して早めに準備を始めること





JST次世代研究者挑戦的研究プログラム

- 研究奨励費等(2023年度)
 区分1:特に優秀な学生(25%程度) :年額290万円 (生活費相当額240万円、研究費50万円)
 区分2:その他優秀な学生(75%程度):年額272万円 (生活費相当額222万円、研究費50万円)
- 採用されるためには優れた研究実績(査読付き論文、 学会発表など)が必要





Questions

 If you have a question, please feel free to contact me. skoyama@geijutsu.tsukuba.ac.jp

